

平成26年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館			
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。			
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援			
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号			
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日		
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊)		
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数		
	今年度の目標値	156,000人・380,000冊	今年度の実績値	148,545人・372,830冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H22	H23	H24	H25	H26 (上期)	H26 (通期)
	来館者数(人)	153,179	154,672	156,894	159,794	149,995	75,975	148,545
	事業開催回数(回)	36	92	97	90	92	51	100
	事業参加者数(人)	1,071	4,731	2,167	2,069	1,951	946	2,209
	貸出冊数	259,651	334,695	360,214	385,783	377,344	192,411	372,830

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成26年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	33,170	指定管理委託料	33,170
	その他（コピー収入）	50	その他（コピー収入）	35
	合計	33,220	合計	33,205
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	31,505	人件費	31,935
	維持管理経費	201	維持管理経費	203
	事業等経費	1,514	事業等経費	1,457
	その他		その他	
	合計	33,220	合計	33,595
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	-390

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H21	H22	H23	H24	H25	H26
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	38,008	38,324	38,423	38,193	38,734	40,170
	(内、指定管理委託料)	31,008	31,324	31,423	31,193	31,734	33,170
	実質経費（歳出－歳入）	38,008	38,324	38,423	38,193	38,734	40,170

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	老朽化による施設・設備機器の劣化が見られるが、利用者の利便性と費用対効果をよく考慮しながら、ラストホールとも連携し臨機応変に対応している。	A	夏の集中豪雨による床下浸水を迅速に対処したほか、館内の清潔さに対する評価も高く、適切な管理運営がなされている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	図書館運営に関して必要な資格と経験、実績を積んだ職員を配置しており、有用な研修にも随時参加している。	B	図書館にとって旬のテーマである研修に積極的に参加し、今後の施設運営に繋がるような姿勢が期待できる。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	財団内連絡網を整えており、ラストホール全館での防災訓練を年2回実施している。	B	計画どおり実施している。
		緊急時の連絡体制は整っているか。	B		B	
		避難訓練を実施しているか。	A		B	
		サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A		B	
	事業等の実施状況	利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B	利用者からのご意見やトラブルについては関係各所とも十分に検討し、対応可能なものは迅速に取り組んでいる。また、多彩な行事を企画し、利用者の増に努めている。	B	利用者ニーズにアンテナを張り、その把握を心がけ、改善に努めている。その成果として概ね9割の満足の評価を得ている。
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B	新規および継続事業の充実を図るほか、利用者との協働事業にも積極的に取り組んでいる。	B	例年に比べて講座数・参加者数も多く、様々な事業に対して積極的に取り組んでいる。
		指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A		B	
施設所管課総評	施設設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報についてはプライバシー運用基準を遵守し、情報提供については読書案内や資料、市広報紙、ホームページのほか、他施設との連携を通して幅広く発信している。	B	館で取り扱う個人情報を適切に管理している。広報では、館内外に広く発信している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
	収支の状況	ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A	予算の範囲内で適正に行っている。	B	適切な経理処理のための取り組みがなされている。
		収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B		B	
		経理処理は、適切に行っているか。	A		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	講座数・参加者数ともに例年以上に取り組み、多彩な事業を展開する工夫もある。市が期待する指定管理者としての責務を果たしている。しかしながら、通期の利用状況については目標値に届いておらず次年度の活動に期待する。
総合評価 B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝管理運営が非常に優れていると認められる。

「B」＝管理運営が適正であると認められる。

「A」＝管理運営が優れていると認められる。

「C」＝管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年3月2日 ～ 平成27年3月15日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・本の貸出・予約等について →「たいへん満足」44%、「やや満足」46%	スムーズかつ丁寧な対応を心掛け、より利用しやすい図書館を目指します。
	・本や調べものの相談について →「たいへん満足」27%、「やや満足」69%	今後も更なるレファレンスサービスの充実と、各職員のスキルアップに努めます。
回答者数	・講座やおはなし会など行事について →「たいへん満足」7%、「やや満足」82%	また図書館に足を運びたいと思ってもらえるよう、魅力的な事業実施に取り組んでまいります。
103		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置